

### 研究要旨

難治性疾患である好酸球性副鼻腔炎は通常治療に抵抗性で決め手となる治療が存在しない。しかし、手術治療や抗体治療は病態に大きな変化をもたらす **disease modifier** として位置づけられる。これら治療の QOL や重症化予防に関する検討を後方視的に行う。

### A. 研究目的

好酸球性副鼻腔炎治療における手術治療、抗 IL-4Ra 抗体の効果、QOL 改善効果、重症化に与える影響を検討する。

### B. 研究方法

当院において令和 3 年 1 月から 12 月にかけて好酸球性副鼻腔炎に対して手術、抗 IL-4Ra 抗体投与を行った症例を後方視的に検討を行う。ポリープスコア、SNOT-22、CT スコア、再手術あるいは継続的ステロイド全身投与を行っている症例を評価項目とした。

（倫理面への配慮）

個人情報 は匿名化し保護されている

### C. 研究結果

手術治療による大幅な QOL、CT 及び内視鏡所見の改善を見る一方で、1 年内の比較的短期でも 30% の増悪を認める。抗 IL-4Ra 抗体投与を行った症例では有効率が 96% であった。

### D. 考察

手術は完治が望める治療ではあるものの、再発例も少なくない。長期管理薬として抗体治療を併用することで再発、重症化を抑制できる。

### E. 結論

好酸球性副鼻腔炎に対する手術は QOL 症状 所見の改善に有効である。一方で抗 IL-4Ra 抗体も QOL 症状所見の改善に有効で長期管理薬として有用である。

### F. 健康危険情報

抗 IL-4Ra 抗体で一部頭痛、高好酸球血症を認めた。

### G. 研究発表

#### 1. 論文発表

好酸球性炎症の新たな展開 好酸球性副鼻腔炎における活性化好酸球の役割. 日本鼻科学会会誌 61 (1) 242-244. 2022.

#### 2. 学会発表

- 好酸球性副鼻腔炎の術後長期経過についての検討. 日本アレルギー学会 2022
- 好酸球性副鼻腔炎・中耳炎 デュピルマブ治療による鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎 (CRSwNP) 患者の無症状日の達成. 日本アレルギー学会 2022
- 好酸球性副鼻腔炎・中耳炎 Type2 気道炎症における biomarker としての CCL4. 日本アレルギー学会 2022
- 好酸球性副鼻腔炎組織中の ILC2 の存在とその活性化. 日本鼻科学会 2022
- 好酸球性副鼻腔炎治療経過中に発症した好酸球性肺炎症例の検討. 日本鼻科学会 2022
- 好酸球性気道炎症における CCL4 産生メカニズムの検証. 日本呼吸器学会. 2022
- アレルギー性鼻炎、慢性鼻副鼻腔炎の新しい疾患概念と治療. 日本耳鼻咽喉科学会 2022

### H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

#### 1. 特許取得

なし

#### 2. 実用新案登録

なし

#### 3. その他

なし